

学習障害に関連した発達障害

- ※ 発達障害の1つに「読み」「書き」「計算」などの基本的な学習の一部に著しい困難をきたすのが「学習障害」です。
これは本人の意志や努力とは関係ありません。
- ※ 学習障害のある子どもたちは、全般的な知的発達の遅れはありません。幼児の時は日常生活にさほど支障がないことが多いですが、小学校に上がった頃から「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」「推論する」という学習の基盤が身につかず、授業についていくのが難しくなっていきます。

①『発達性協調運動障害』（運動に対して無器用になる）

走り方がぎこちない、ボールを投げようとする方向に投げられない、物をつかめない、習字が困難、はさみが使えない、学童期に5-6%の発症率があり、50-70%は青年期・成人期まで症状が続きます。
手足の動きなど身体の動きをコントロールして行う協調運動が年齢相当に行えない、日常生活に支障が出る場合に診断されます。



治療 適切な運動指導を行う療育を取り入れる

② 聴覚情報処理障害 ⇒ 『聞き取り困難症』

長い文章が頭に残らない、音声提示のみでの指示が理解しにくい
聞きながらメモを取るのが苦手

聴覚閾値（聞き取れる最小の音）は正常です。
中枢性聴覚情報処理が困難である状態です。
大人数での会話や人ごみの声など、複数の騒音下や
複数音声下での聞き取りに困難を感じます。



治療

明瞭で適度な大きさの声で簡潔な文章で話す
適宜、集中を促すような注意喚起をした後に話し始める
などの工夫が効果的である
音だけでなく文字でも指示を示す

そろそろ冷え対策

腰が冷える、腰痛、頻尿

➡ ⑪⑧ 荊姜朮甘湯（りょうきょうじゅつかんとう）



手足が冷える、頭痛、しもやけ

➡ ③⑧ 当帰四逆加呉茱萸生姜湯（とうきしぎやくかごしゆしやうきようとう）

月経不順、月経困難、しもやけ、手の荒れ、口唇の乾燥

➡ ⑩④ 温経湯（うんけいとう）



おなかの冷え、軟便、元気が出ない

➡ ③② 人参湯（にんじんとう）

腰から下の冷え、腰痛、神経痛

➡ ⑤③ 疎経活血湯（そけいかくけつとう）



病気の療養中で冷えて元気が出ない、起き上がれない

➡ ③⑩ 真武湯（しんぶとう）

コラム

暑い夏が終わり、急に冷え込みが始まっています。
夏は冷房の中にずっといたのでウイルス感染にさらされることなく、
快適に過ごした方も多いでしょう。

しかし、カゼを避けて生活していると、免疫が低下していきます。
コロナ自粛後も、いきなりカゼが流行して1-2年ウイルス感染を
繰り返した小児が多かったのを思い出します。

冷え対策をしつつ、当たり前のことを当たり前にやる生活が健康には良さそうです。
睡眠時間を30分でも長くすることによって、日中にパフォーマンスが上がることは
間違いないそうです。



お知らせ

岐阜市の
漢方外来

11月 8日（土）
22日（土）

時間：14:00-17:30
場所：中島小児科（岐阜市健屋東町2-1）
※すべて「院外処方」です。

休診のお知らせ 11月 5日（水）、15日（土）、19日（水）